ご存じですか！文化財 48

「渡良瀬川堤防決潰口跡および記念碑」

所在地　向古河地内

昭和22年9月のカスリーン台風は、関東、東北地方一帯に記録的な大雨を降らせて未曾有の大水害をもたらしました。

利根川は北埼玉郡東村（現加須市）新川通り地先で15日夜半、延長340mにわたって破堤し、埼玉県東部から東京都まで甚大な被害を及ぼしました。

一方、渡良瀬川でも同川の出水と利根川の逆流によって、渡良瀬遊水地周囲で3か所の堤防が決壊しました。

北川辺地域の旧川辺村向古河（東武日光線新古河駅東側）の堤防は溢水（いっすい）し、300mが決壊し、川辺村および隣接する利島両村に壊滅的な被害をもたらしました。

「北川辺町史資料集」には、両村の死者は9人。被害家屋1、910戸。水稲、野菜などの農作物全滅とあります。

このとき堤防が決壊した北川辺地域の4か所の決壊口跡の記念碑には、利根川の治水のためにと題した碑文が刻まれています。

決潰口跡記念碑

紹介者　渡辺　研二さん（向古河）

問合せ
生涯学習課
（☎0480・62・1221）